ぶんと通信
第76号
2011年6月15日発行
㈶伊賀市文化都市協会

市杵島神社遺蹟
天正役の碑

「雨乞山（あまごいやま）」

日本各地で雨乞いの風習がたくさん残されています。又、その祈願が行われた雨乞山と呼ばれる山も多くあります。しかし、「雨乞山」の名がそのまま地図に使われている山は意外に少ないようです。

阿山地域にも、馬田の龍山（りょうさん）、上友田のヒヨ山が雨乞祈願の山として知られていますが、山の名として地図に使われているのは下友田の「雨乞山」だけのようです。

下友田では、旱魃（かんばつ）になると村人が鞆田神社で御幣を授かり、雨乞山に登り大火を焚いて祈願をしたと言います。その時にでる真っ黒な煙が大空に昇っていく様子から、龍が昇り天に向かって吼えていると伝えられています。元々、この地には市杵島（いちきしま）神社がありました。村人からは「森の宮」と親しまれ、ザンザ踊りが奉納されていました。踊り子は各々赤熊（しゃぐま）をかぶり、太鼓を胸につけ、歌に合わせて踊ったそうです。ザンザ踊りは、「笠踊り」「花踊り」「雨乞い踊り」ともいわれていましたが、絶えて八〇年になろうとしています。

また、雨乞山は「天正伊賀の乱」で壮絶な合戦があった場所でもあります。天正九年、織田信長は総勢四万騎をうわまわる大軍で伊賀に侵入。この地には、蒲生氏郷はじめ総勢七千余騎が玉滝口へ入ってきました。郷士たちは雨乞山に籠城して懸命に応戦しましたが、とうてい及ばず砦は落城してしまいました。信長は乱後、伊賀を壊滅させようと郷士だけでなく、城や神社も焼き払い、僧侶、女、子どもの区別無く虐殺したといいます。

伊賀びとが慈雨を望んだ祈願の山。
合戦であまたの命を無くした無念の山。
梅雨が山々の葉色を濃くしていきます。
どの山よりも色濃い緑が「雨乞山」です。伊賀びとの想いが紡ぐ景色です。

（広報事業委員　辻村勝則）

東北地方太平洋沖地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

BUNTO チケット情報

美輪明宏音楽会 ＜愛＞
7/18(月・祝) 好評発売中
開場18：00　開演18：30
一　般　7,500円
（全席指定）
伊賀市文化会館

松永貴志デビュー10周年記念 ピアノソロコンサート
8/6(土) 好評発売中
開場18：30　開演19：00
一　般　2,500円
高校生以下 1,500円
（全席指定）
あやま文化センター

0歳から入れる 親と子のコンサート

8/28(日) 7/3(日)発売
開場13：30　開演14：00
一　般　1,000円
（中学生以上）
小学生以下　500円
（当日300円増）
（※3歳未満整理券要）
（全席自由）
伊賀市文化会館

宗次郎オカリナコンサート ～癒しのツインギターアンサンブル～

9/4(日) 6/26(日)発売
開場13：30　開演14：00
一　般　2,500円
（当日500円増）
（全席指定）
ふるさと会館いが

米村でんじろう おもしろサイエンスショー2011

9/18(日) 好評発売中
①開場12：30　開演13：00
②開場15：00　開演15：30
一　般　1,500円
（※3歳以上チケット要）
（全席指定）
伊賀市文化会館

ショパンとリスト生誕200年を祝して 近藤嘉宏 plays Chopin & Liszt 別れの曲　シネマ&リサイタル

10/30(日) 7/17(日)発売
開場13：30　開演14：00
一　般　2,500円
高校生以下 1,500円
（当日500円増）
（全席指定）
青山ホール

TAKARAZUKA WAY TO 100th ANNIVERSARY Vol.2 2011宝塚OGレビューツアー DREAM FOREVER

11/20(日) 7/23(土)発売
開場16：00　開演16：30
一　般　6,500円
（全席指定）
伊賀市文化会館

●チケットのお問い合わせ●
伊賀市文化会館　TEL.0595(24)7015　ふるさと会館いが　TEL.0595(45)9125
青山ホール　TEL.0595(52)1109　あやま文化センター　TEL.0595(43)1125

先取りインタビュー

美輪明宏さん

来る７月18日（月・祝）、伊賀市文化会館で「美輪明宏音楽会＜愛＞」が開催されます。公演に先立って、美輪さんにお話をうかがいました。

Q．ある雑誌の人生相談を毎月読ませていただいてます。厳しくても＜愛＞のある答えにいつも納得させられます。最近の若い方についてどのように思われますか。

A．戦争中や終戦後から続いて来た“攻撃的で利己主義、不良じみている事がカッコイイ”とされていた時代が今や流行遅れで“ダサイ”となり、男女優もスポーツ選手も皆礼儀正しく上品で優しく親孝行で言葉づかいも丁寧な正統派が若い人の主流になって来て非常に結構なことだと思います。

Q．ヨイトマケの唄からシャンソンまで広く歌われていますが、シャンソンに取り組まれたキッカケは何ですか。

A．シャンソンの持つ美しいメロディー・音楽性、詩の内容の多様性・深さ、ドラマツルギーと文学性、成熟度などです。

Q．ヘアスタイルや衣装、アクセサリーにどのようなこだわりをお持ちでしょうか。お好きな色があれば教えてください。

A．別にこだわりはありません。好きな色は淡いパステルカラー全般です。

伊賀でのコンサートで歌はもちろんですが、きれいなお姿と優雅な衣装を楽しみにしています。

（広報事業委員　松永啓子）

先取りインタビュー

松永貴志さん

来る８月６日（土）あやま文化センターにおきまして「松永貴志デビュー 10周年記念ピアノソロコンサート」を開催します。若手ジャズミュージシャンとして活躍の、松永さんにお話をうかがいました。

Q．松永さんは、５歳からピアノやオルガンを弾き、「ずば抜けた才能」を伸ばし、多くの賞賛を得ながら音楽活動を続けられてこられましたが、これまでの歩みの中で支えにしてきたことがあれば教えてください。

A．伝えることを必ず決めて演奏しています。音楽を通じて少しでも楽しい時間を一緒に過ごすことができたらと思って演奏しています。

Q．デビュー10周年を記念して、コンサート活動をされていますが、様々な演奏を通じて表現したい「松永貴志のピアノ芸術」の魅力はなんですか？

A．ピアノの魅力は様々ですが、なるべく色々な音を使って音を演出できればと思います。

Q．これからの夢と伊賀での公演を前にしてのお気持ちをお聞かせください。

A．10年あっという間でしたが、これからもピアニスト、作曲家として新しい事にどんどん挑戦していきたいと思っています。応援よろしくお願いします。

（広報事業委員　西岡時彦）

先取りインタビュー

米村でんじろうさん

来る9月18日（日）、伊賀市文化会館におきまして「米村でんじろう おもしろサイエンスショー2011」が開催されます。公演を前に、でんじろうさんにお話をうかがいました。

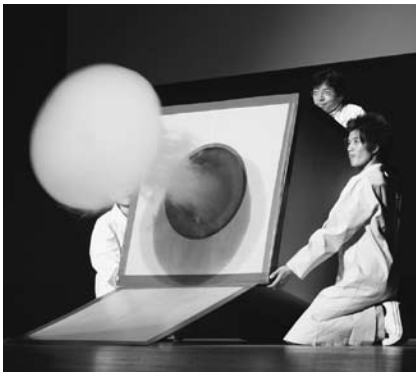
Q．でんじろうさんにとって、科学とは？

A．「科学」は「科楽」！　みんなが楽しめる「科楽」を目指しています。

Q．「おもしろサイエンスショー」で、伊賀の特に子どもたちに伝えたい思いは？

A．サイエンスショーの中で学んだ知識はいつかは忘れてしまうかもしれませんが、楽しんだ体験や驚きはずっと覚えているもの。体験することが大事です。これを機会に、身近にある科学に目を向けてみて下さい。不思議と思う気持ちを大切に！

Q．これからの科学と人間の関わりについて、どうお考えになられますか？



A．子どもたちが科学に興味を持って勉強をすることで、今地球で問題になっている環境問題なども解決していくことでしょう。科学とは元来人間の知恵。子どもたちの知恵によって、明るい未来の扉が開かれることでしょう。

（広報事業委員　廣澤良美）

一筆啓上 ふるさとへ

「芭蕉生誕地への再見」

金沢星陵大学名誉教授
東アジア交流研究プロジェクト代表幹事　服部　治

＜ふるさと＞という言葉は、離れて五十年余ともなると、ずしりと重い。それが、ふるさとの力だろうか。やはり、私にとって少年の頃、毎朝仰ぎ見た霊山、季節ごとに親しんだ柘植川、それぞれにうれしい時、淋しい時に眼前にそっと浮び上ってくる。

高校時代の上野の街は城下町として、どっしりした趣が大きな魅力だった。それは、伝統や歴史によるものであったのかもしれない。静かで温かさを包容した雰囲気は得難いものだった、と振り返ることができる。

伊賀といえば、“忍者の里”として広く知らされている。たまたま宴席で座談が弾んで、「そうですか。伊賀はやっぱり忍者ですね」とやりとりすることになったが、芭蕉の生誕地の話題はいっこうに出てこない。

＜芭蕉さん＞は有名だけれども、生誕地が伊賀であることは、あまり知られていないようだ。これは残念なことである。

伊賀は、まさに文化豊かな地でなければならない。大都市にないさまざまの魅力をもつ。かつて私も中学時代、芭蕉祭をきっかけに俳句をつくったことがあった。あの当時、俳句への関心の高まりや作句できたときの喜びは、いまも胸中に在る。

伊賀には名勝・史蹟・名物など数々。自慢したい文化財もある。ただ一方で、全国レベルからすれば、文化面でいまひとつ注目度は弱いといえる。どう活性化させるのか。＜新しい芭蕉文化＞を伊賀文化振興につなげていくことが大切だと願っている。

たとえば、現在も催されているであろう全国の小学生・中学生・高校生を対象にした俳句大会（通信投稿も可）の積極的な展開。各地から、多くの人たちから話題を呼び伊賀文化の香りをもっと見て、感じてもらうような機会づくりが生まれるとすれば、まことに快なることとなる。

いま新緑の季節。ふるさと・伊賀の明るい山脈が、ふんわりと眼前に浮かんで来る。

夢ing

『これまでも、これからも…伊賀の文化発信拠点でありたい』

広報事業委員　下猶茂樹

4月16日（土）・17日（日）の両日、伊賀市文化会館におきまして、伊賀市文化会館開館20周年記念イベント、ぶんと・文化市場「OTOMONO−音楽とモノづくり空間−」を開催しました。

記念にふさわしいイベント&「ぶんと」の愛称を市民の皆様に親しみを持ってもらえるような企画は出来ないか？　考えました。そして「ぶんと」を冠したイベント名、文化会館まるごと全てを用いた「OTOMONO−音楽とモノづくり空間−」という内容のイベントとなりました。

ホールでは、三重県在住の和太鼓奏者、服部博之氏と新田みかん氏による和太鼓と尺八・二胡の共演と、伊賀地域の和太鼓5団体から奏者42名との大コラボレーション「一會」を演奏。伊賀地域高校生美術部生徒による「若きアーティストたち展」。イガデハク（伊賀でデザイン博）のぶんとバージョン。野外ステージを囲んだ手づくり市など。ひとつひとつでも充分なイベントが一同に集まって、中身の濃い2日間になりました。

多くの参加者・来場者に「文化の空間」=「ぶんとのイベント」を楽しんで頂けたのではと思います。伊賀市文化会館がこれまでも、これからも伊賀の文化発信拠点であり続けられる事、そのためにまた頑張っていきたいと思います。

なお今回の会場にて、東日本大震災への義援金を募りました。参加者による「もちより市」と募金箱にて、もちより市：57,453円・募金箱：32,696円=合計：90,149円を伊賀市役所を通して、日本赤十字社に届けさせて頂きました。ご協力ありがとうございました。

伊賀のええもん見いつけた

「城下町整備・400年後」

今をさかのぼること400年、藤堂高虎は上野城の外堀の南に東西に三筋の町と三筋の立町通りが南北に交わることを基本に城下を整備しはじめました。

藤堂藩32万石のうち、ひとつの国を丸ごと与えられたのは伊賀の国だけでした。豊かな国づくりのためには、まずその中心となる拠点作りは不可欠です。まちというものは様々な要因によって成立するものですが、現在のうえのまちは自然発生的に生まれた町ではなく、あきらかに計画的に作られたまちなのです。

まちが大きく変わろうとしています。人の暮らしぶりが変わればおのずと変わってゆくものですが、まちの機能を分散することと求心力を分散してしまうこととは違います。目先の利便や都合のみを優先してその力を失ったまちは緩急の差はあれ、いずれ衰退の途をたどることになると思われます。また、新しいものと旧来のものを調和させる能力を持ち合わせなければ、その特性や良さは失われ、どこにでもある、どこにあってもいいまちになることでしょう。

このまちの次の100年の計、それは今まさにこの時なのでしょうか。

（広報事業委員　菊野善久）

こだわり人生乾杯

「みんなの笑顔が見たいから」

NPO法人伊賀の伝丸（つたまる）　和田京子

東北沖地震が起こった翌日から約１ヵ月半、在住外国人向けに、多言語災害情報を届けるお手伝いをさせていただきました。担当はインドネシア語翻訳のコーディネート。ほぼ毎日、十数時間で数枚の翻訳を仕上げます。しかし、インターネットでの情報提供は、相手の顔や反応が分からないことがもどかしく、現地はどんな状況か、この作業が本当に誰かの力になっているのか、悶々としていました。４月末、各地の多言語センターでも情報提供ができる状況になってきたのを機に、三重県が応援している岩手県山田町で災害ボランティアとして約１週間活動させてもらいました。こんなときだからこそ、誰か１人でも元気になってほしいと、じっとしていることが出来ませんでした。

そんな私の小学校時代の成績表には「積極性が足りません」と書かれていました。引っ込み思案で、いつもボーっとしていた私は、毎週土曜日にテレビ放映される松竹新喜劇の藤山寛美さんが大好きでした。アホ役を見事に演じ、観る人を元気にする寛美さんにあこがれていました。

その10年後、周囲の反対を押し切り役者の道に進みました。役者という仕事を通じて寛美さんのようにみんなを笑顔にしたいと。さらに15年後には、多文化共生のNPOを立ち上げました。言葉や文化の違いに悩む外国出身の人々や元気のない地域に、少しでも元気になってもらえたらとの思いからです。

今回参加したみえ災害ボランティアのキャッチコピーは「みんなのえがおが見たいから」です。そうなんだなぁ、「みんなの笑顔が見たいから！」だから、今日も走ってます。

（伊賀市緑ケ丘在住）

楽しいなにか？　便利ななにか？
嬉しいなにか？　ここから生まれるよ

ぶんと「伊賀のたまご」

「三重大学伊賀研究拠点所長就任の挨拶」　加納　哲

本研究拠点の所長を拝命いたしました加納でございます。これから２年間よろしくお願い申し上げます。本研究拠点は伊賀市の要請でこの地域の研究開発等に関する事項を支援することを目的に設立された組織でございます。産学官連携地域産業創造センターが建設され、三重大学伊賀研究拠点の活動が本格的に開始され２年がたちました。その間、各種の企画が実施され一定の成果を上げて参りました。この間の企画の多くは生物資源に関わる内容が目立っている印象がございます。伊賀市にはこれ以外の産業があり、また三重大学には工学、医学、人文教育に対する研究支援能力がございます。これらの関連分野についても、伊賀地域からの支援要請があれば三重大学と連携を保ちつつ、この地域の発展に貢献してゆく準備がございます。

また、伊賀研究拠点として、能動的に研究支援を提案してゆくことも重要な役割であると考えます。伊賀地域は忍者という独特の伝統文化を継承しています。日本食の世界への浸透をきっかけの一つとして、世界から日本文化が注目を集める状況が続いています。忍者という言葉も英語表記となりSamuraiについで国際的に通用する言葉として認められるようになって参りました。これは伊賀地域の文化が世界から注目を集められる好機であり、伊賀地域はこれを利用する権利があります。

この世界ブランド化しつつある文化を上手く取り込んだ企画を伊賀市とともに提案してゆくことも本研究拠点の重要な役割であると考えます。

優子の　多情　多感

No.36

「験（げん）かつぎ」

北泉優子

完全な朝型人間になってしまった。東京時代は夜型で、いつも寝るのは明け方だったのにである。今は、どんなに遅くても、その日のうちに就寝して、大抵は早朝五時前後に起床する。たまに、三時半や四時に目が覚めて起き出すこともある。そんな時は、まず仏壇にお茶と水をあげ、コーヒーを淹れる。香りと味をゆっくりと楽しみながら、伊賀鉄道の一番電車が通るのを待つ。読書をしたり、深夜のテレビを見たりして刻の経つのを待つこともむろんある。

電車が通る音を確認したら、朝の行事に取りかかる。猫のトイレの始末をしたり、汚れの目立つ所を拭いたりして、時間を見計らい洗顔にかかる。歯を磨いたり顔を洗ったりしている間に、電車の通過する音がする。「あーよかった。これで今日も無事にすむ」

これがわたしの毎日の験である。洗顔中に電車が通れば、その日は平穏。もし通らなければ、何か変事が起きる。東京から故郷へUターンして以来、なぜだかそう信じて疑わず、ずっと思い込んできた。だから、洗顔中に電車の音がしなかったら、もう大変、何かおきるぞと心して、注意に注意を重ねてきた。それでも、落し物、忘れ物をしたりする。ゆえに、電車の音は、わたしにとっての験かつぎ、なのである。それなら、時刻表を見て洗顔すれば、と考えるが、それでは験にならないのだ。あくまでも、その日の朝の勘でやらなくては意味がないからだ。

験をかつぐ人は、スポーツ界や芸能界に多い。かの野村克也氏は、勝った日の下着を敗けるまで取り替えなかったそうだ。

芸能人でも、仕事場の往復の道順を決めていたり、靴下を右足からならずはくとか、ここ一番の勝負所では色の決まった服を着るとか。さまざまな験のかつぎかたがある。まあ一種の神頼みというべきかなあ。

験かつぎが深間（ふかま）にはまると、占いに凝り出すことになる。わたしの親友の一人に占いに執着し、ある高名な占い師に傾倒、その人の言う通り行動する女性マネージャーがいた。彼女が担当する俳優達は、占い師のご託宣のまま、仕事を引き受けたり、断ったりしていた。彼女が独立した時も、事務所の名称、場所、引き受けるタレントたちの人選まですべて占い師のいいなりに従った。むろん、彼女も必死に頑張った。そのおかげで経営は順調、役者たちも、それなりに仕事に恵まれた。わたしは、それを、彼女の努力の結果だと思っているが、彼女は占い師の力だと感謝し、多額の寄進をおしまなかった。わたしも一度鑑定してもらえと、彼女に勧められ、興味半分で行った。女性占い師だったが、きんきらきんの衣装で現れるや、いきなり「名前が悪い。改名しなさい」と下手くそな字で〝北泉　恵（めぐみ）〟と書いてよこした。恵は兄の名前だ。兄は恵（めぐむ）と言う。ペンネームでも使えない。それに、霊感だそうだが、親が愛情をこめて付けてくれた名前を、何の根拠も理由もなしに改名なんて、とても納得できない。丁寧に断ったら、「あなたとは相性が悪い。ご縁はなかった」と席を立ってしまった。それで、鑑定料大枚五万円とられた。

以来、わたしは占いのたぐいを一切信じない。ただ、ささやかに自分だけの験かつぎをやって、一喜一憂しているのが分相応だ。誰にも心に不安や心配はある。悩みも迷いもある。それを、小さな験かつぎで少しだけ溶かしていればいいではないか。生きている限り苦悶と葛藤はその道づれなのだから・・・。

（作家・市内在住）

『子ども太鼓フェスティバルin伊賀』共演者募集！　本公演12/17㈯　伊賀市文化会館　13：30開演

＜一般参加の部＞

オープニングで曲に合わせて、踊りのチームと共演します。
和太鼓に興味のある方、初心者の方大歓迎です！

【応募対象】小学３年生～大学生以下
※やる気があり練習に参加できる方
【募集人数】先着20名
【参加費】　無料
【練習日時・場所】　時間10：00～12：00
8/27、10/1、10/22･･･伊賀市文化会館
11/5、12/3、12/11･･･ふるさと会館いが
(注)12/3は13：00～15：30の練習
【申込方法】　7月17日（日）午後1時から☎22-0511にて電話受付
※和太鼓・バチはこちらでご用意します。自分のバチが欲しい方は有料になりますがご購入可能です。

＜チーム参加の部＞

中学生以下４チーム、大学生以下１チームを募集します！
エンディングにゲストの倭太鼓飛龍との共演もございます。

【応募対象】
・和太鼓の演奏経験者　・1チーム10人程度
・持ち時間は15分（セッティング・転換含）
※応募多数の場合は選考有　※出演は選考により決定（7月予定）
【募集チーム数】　①中学生以下･･･4チーム
②大学生以下･･･1チーム

ゲスト：倭太鼓飛龍

【参加費】　無料
【練習日】　8/27(土）伊賀市文化会館　13：30～17：00
10/1(土）伊賀市文化会館　13：30～16：30
11/5(土)、12/11（日）ふるさと会館いが　13:30～17:00
【募集期間】　6月1日（水）～6月30日（木）必着
※提出物等の詳細は、お問合せ下さい。伊賀市文化都市協会事務局 ☎22-0511

チャリティーライブ Full・Come・Live Vol.34

地域で文化活動している方に発表の場を提供！！
今回チャリティーにご協力いただく出演者は３組です。
お友達やご家族と一緒にご来場ください。

M・Kurahashi
Ojn's old love songs
明日への愛“始動”

BATTLE BOY
音楽で人生を楽しくしようと思っています。その楽しみをみなさんといっしょに！！

zacc
新メンバー加入しての初ライブ。新しいサウンドをお届けします。

【日　　時】　7月2日（土）　18：15開場　18：30開演
【場　　所】　ふるさと会館いが　小ホール
【入 場 料】　無料（チャリティー募金にご協力下さい）
【お問合せ】　伊賀市文化都市協会　☎22−0511

参加者募集　タッチ・ザ・スタインウェイ

～世界最高峰のスタインウェイを気軽に弾いてみませんか！～

■ふるさと会館いが　　７月30日（土）　10：00～17：00
■青山ホール　　８月７日（日）　10：00～17：00

【演奏時間】　1枠30分　※おひとり1枠のみ
申込者本人の利用。音楽教室等の指導としての利用は不可。
【参 加 費】　500円
青山ホールに限り、2台のピアノの場合は２人以上１組１時間で1人1,000円（ただし、８手の場合は１人500円）
１枠に３名以上（ただし２台の場合を除く）の使用は不可
【募集人数】　各14枠　※先着順とし、定員になり次第締切
【申込方法】　6月25日（土）午前９時から電話受付
【申 込 先】　●ふるさと会館いが　☎45-9125（月曜休館日）
●青山ホール　☎52-1109（水曜休館日）

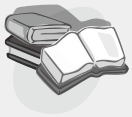
参加者募集　第4回 ゆめテクノ伊賀・こども大学

【日　時】　8月11日（木）午前の部 9:30～　午後の部 13:30～
【場　所】　ゆめテクノ伊賀（ゆめが丘一丁目3−3）
【参加料】　無料
【対象者】　小学生　※３年生以下の参加者は必ず保護者同伴
【定　員】　午前の部、午後の部　各35名　合計70名
【内　容】　・加藤教授による「分光フィルム」を使った万華鏡作り
・田口教授による太陽光の話と太陽電池を使った工作
・白鳳高校エコカー部のソーラーカーの展示
【持ち物】　かなづち・帽子
【申込受付】　7月19日(火)午前9時から「ゆめテクノ伊賀」☎41-1061にて受付
※先着順とし、定員になり次第締切
※受付は平日の9：00～17：00

史跡旧崇廣堂特別講座　参加者募集
「漢文学教室」

歴史情緒あふれる江戸時代の藩校で、歴史史料をもとに「漢文学」を学んでみませんか。どなたでも気軽に学習いただける講座ですので、ぜひご参加下さい。

【開催日時】　４回講座
第１回　７月９日（土）　第２回　７月23日（土）
第３回　８月６日（土）　第４回　８月20日（土）
講義時間　13：30～15：00
【場　　所】　史跡旧崇廣堂　講堂
【講　　師】　皇學館大学名誉教授　野村　茂夫氏
【テ ー マ】　「論語」を読む
【参 加 費】　800円（4回分、初回に徴収します。）
【定　　員】　50名
【申込受付】　☎22-0511にて受付



上野歴史民俗資料館　夏休み特別企画
質感体験！ イガデハク in 上野歴史民俗資料館

夏休み期間の子どもたちに「楽しく、質の高い手づくり体験」をしてもらいたいと、昨年に引き続き、手づくり体験イベントを行います。

毎年12月上旬、全国からアート＆クラフト・手づくり作家・匠が集結し、出展ブースを繰り広げる「イガデハク＝伊賀でデザイン博」。その出展作家の皆さんに協力していただき、作品の質感の高さを感じる作品展示・体験の場を用意します。

【場　　所】　上野歴史民俗資料館
【期　　間】　7月16日（土）～8月28日（日）
【開館時間】　9：00～16：30
【入 館 料】　大人200円、高・大学生150円、小中学生100円

※参加作家・体験の内容については、チラシをご覧ください。
※体験イベントに参加する場合は、実費が必要です。

栄楽館施設利活用事業　参加者募集
現代柄の刺し子 de オリジナル小銭入れ作りに挑戦！

現代柄の布地に、「刺し子」で模様を縫いこんで、小銭入れ作りに挑戦しよう！自分だけのオリジナル作品を、ご家族やお友達と一緒に楽しく作ってみましょう！

【日　　時】　７月30日（土）①9：30～ ②13：30～
【場　　所】　生涯学習施設　栄楽館
駐車場はございませんのでご了承ください。
【対　　象】　小学生４年生以上
【料　　金】　500円（保険代、材料費含む）
【定　　員】　各20名（限定）
【講　　師】　お針子 燦　辻田佳代先生
【申　　込】　７月２日（土）午前10時から☎22-0511にて受付

お問合せ：（財）伊賀市文化都市協会本部事務局　電話　22-0511

めんそ～れ岩倉峡！

沖縄料理作りと手作り太鼓を演奏してみよう！

ダッチオーブンを使って、沖縄料理を作ります。
食後は、身近にある材料を使って簡単太鼓作りに挑戦！
できた太鼓で、地元で活躍するエイサー団体と一緒に演奏します。

【日　　時】 7月2日(土)
受付9：00～／時間9：30～14：00（予定）
【場　　所】 岩倉峡公園キャンプ場
【料　　金】 小・中学生800円／高校生以上1000円
（材料費・傷害保険料含）
【対 象 者】 小学生以上（但し、小学3年生以下は保護者同伴）
【定　　員】 先着50名　※先着順とし、定員になり次第締切
【申込方法】 6月18日(土) 午前11時から
☎22−0511にて申込受付
※1電話に付き1家族、又は5名までとします。
◇詳しくは伊賀市文化都市協会のHPをご覧ください◇

見学大歓迎！ 能楽教室 生徒募集！

能楽をとおして日本古来の伝統文化に気軽に触れてみませんか！
ふるさと会館いがの能舞台で仕舞を舞ってみよう！

【応募対象】 小学生以上
※2月26日(日) ふるさと会館いがで開催する「第12回能楽鑑賞会に日頃の成果発表として仕舞を舞っていただきます。
【料　　金】 受講料　月額2,000円
※第12回能楽鑑賞会チケット12,000円分の買い取り
【練習場所】 ふるさと会館いが
【練 習 日】 毎月2回　第2・第4の(水)又は(木)の18：00～22：00
※18：00～22：00の間で都合に合わせ時間調整可能
【講　　師】 長田 驍（おさだ　たけし）先生
(喜多流シテ方職分・重要無形文化財認定者・日本能楽会員・能楽協会名古屋支部理事・喜多流長袖会主宰)
長田 郷（おさだ　あきら）先生
【申込方法】 伊賀市文化都市協会事務局
☎22-0511にて随時受付中

仕舞とは
能の曲の一部分を、能面や能装束を着けずに紋付袴を着て、囃子(笛や太鼓などの楽器による音楽)もなしで、地謡(セリフ)だけをバックに舞う事です。

ボクササイズ 第4期

全身引き締めに効果的!!

【日　　時】 毎週土曜日・5回講座
8月20日(土)～9月17日(土)
受付 19：00～／時間 19：30～20：30
【場　　所】 伊賀上野交流研修センター
【料　　金】 2,500円
【対 象 者】 一般（高校生以上）
【定　　員】 35名
※先着順とし、定員になり次第締切
【申込受付】 6月25日(土) 午前11時から
☎22-0511にて申込受付
※1回のお電話につき、3名様までとします

アクアZUMBA

水中ダンスフィットネス！

【日　　時】 毎週木曜日・5回講座
8月11日(木)～9月8日(木)
受付 19：00～／時間 19：30～20：30
【場　　所】 大山田B&G海洋センター　プール
【料　　金】 2,500円
【持 ち 物】 水着・水泳キャップ・タオル・飲み物
【対 象 者】 一般（高校生以上）
【定　　員】 30名　※先着順とし、定員になり次第締切
【申込受付】 6月25日(土) 午後1時から
☎22-0511にて申込受付

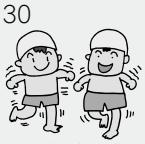
アクアビクス

みんなで楽しく水中エクササイズ！

【日　　時】 毎週木曜日・5回講座
7月7日(木)～8月4日(木)
受付 19：00～／時間 19：30～20：30
【場　　所】 大山田B&G海洋センター　プール
【料　　金】 2,500円
【持 ち 物】 水着・水泳キャップ・タオル・飲み物
【対 象 者】 一般（高校生以上）
【定　　員】 30名　※先着順とし、定員になり次第締切
【申込受付】 6月25日(土) 午後3時から
☎22-0511にて申込受付

夏限定！水慣れチャレンジ！！ 親子でふれあい水遊び教室2011

【日　　時】 4回講座
7月11日(月)・7月25日(月)・8月1日(月)・8月8日(月)
受付 10：00～／時間 10：30～11：30
自由遊泳時間 11：30～12：00
【場　　所】 大山田B&G海洋センター　プール
【料　　金】 2,400円
【対 象 者】 2歳以上で、幼稚園(所)・保育園(所)に入園(所)していない幼児と保護者
【定　　員】 10組　※先着順とし、定員になり次第締切
【申込受付】 6月20日(月) 午前10時から
☎22-0511にて申込受付



～美と健康の総合プロデュース～

YOGA de Night！ 第2期

健康、美容、整体、痩身、呼吸、精神力強化等いろいろな効果をあげる「ヨガパワー」
心身共に健康で自立できる元気な体力づくりにお役立てください。

【日　　時】 毎週水曜日・6回講座
7月6日(水)～8月10日(水)
時間 19：30～20：30
【場　　所】 伊賀上野交流研修センター
【料　　金】 3,000円
【対 象 者】 一般（高校生以上）
【定　　員】 40名　※先着順とし、定員になり次第締切
【申込受付】 7月2日(土) 午前9時から☎22-0511にて受付

太極拳教室 第2期

カラダの芯からリラックス

【日　　時】 毎週土曜日・8回講座
7月23日(土)～9月17日(土)　※8/13休講
受付 9：30～／時間 10：00～11：30
【場　　所】 いがまちスポーツセンター
【料　　金】 4,000円
【対 象 者】 一般
【定　　員】 20名
※先着順とし、定員になり次第締切
【申込受付】 6月26日(日) 午前11時から
☎45-9125にて申込受付

お問合せ：(財)伊賀市文化都市協会本部事務局　電話　22-0511

ホール・ドーム これから 情報

ふるさと会館いが

伊賀市下柘植6243番地　TEL.45－9125

日 時	催 し 物	場 所	入 場 料	主催·問い合わせ
6/25(土) ①13:00～ ②19:00～	「いきいき未来いが2011」 〈第1部〉男女共同参画フォーラム 〈第2部〉三重県内男女共同参画連携映画祭	大ホール	無 料	伊賀市男女共同参画ネットワーク会議 伊賀市 ☎22-9632 (伊賀市人権政策·男女共同参画課)
7/2(土) 18:30～	チャリティーライブ 「Full·Come·Live Vol.34」	小ホール	無 料	(財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
7/6(水) 10:00～	絵本の時間	小ホール	無 料	いがまち公民館教室 絵本の時間 ☎45-9122(西川)
7/9(土) 13:00～	CHARITY CONCERT "For the less fortunate in the philippines"	大ホール	1,000円	ueno Filipino community ☎46-2018(信田)
7/16(土) 13:30～	平成23年度 大栄工業グループ安全大会	大ホール	関係者	大栄工業グループ工事本部会 ☎59-9200(林)
7/30(土) 10:00～	タッチ・ザ・スタインウェイ	大ホール	参加料 500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)

青山ホール

伊賀市阿保1411－1　TEL.52－1109

日 時	催 し 物	入 場 料	主催·問い合わせ
6/26(日) 14:00～	第18回あい愛コンサート	前売　500円 当日　700円	あい愛コンサート実行委員会 ☎59-2697(谷岡)
7/3(日) 12:30～	第5回江州音頭七夕フェスタｉｎ伊賀 伊賀青山会襲名披露＆最後の伊賀祭文語 女流山崎明香設50年	無 料	江州音頭·祭文音頭　伊賀青山会 ☎090-3157-3039(竹岡)
7/9(土) 10:30～	青山老人クラブ連合会 福祉大会	関係者のみ	青山老人クラブ連合会 ☎52-1445(東　徹)
7/10(日) 13:00～	ピアノ発表会	無 料	乾　裕香・延山　正子 ☎65-8055
7/24(日) 13:30～	第3回 2011 BLUE ECHO チャリティー歌謡コンサート	会員券 (1,000円)	青山文化サークル連絡協議会 BLUE　ECHO ☎090-6072-2180(福嶋)
8/7(日) 10:00～	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費 500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109(青山ホール)

プールオープン!!

次の期間にプールを開設します。

◇上野運動公園プール

開設期間等　7/16(土)～8/24(水)　10:00～16:00
※7/25(月)、8/8(月)は休業します。

時間区分　①10:00～12:00
②13:00～16:00(毎時50分から10分間休憩)

利用料金　一般300円、中学生以下150円、乳幼児50円

◇阿山・大山田B＆G海洋センター

開設期間等　7/2(土)～9/11(日)　9:00～22:00
※阿山は火曜日、大山田は月曜日を休業とします。
なお、休日の場合は翌日とします。

時間区分　①9:00～12:00　②13:00～17:00
③18:00～22:00　(毎時50分から10分間休憩)

◇利用料金　各プール共通　1区分
一般300円、中学生以下150円、乳幼児50円

◇その他

①遊具の使用は、利用者数等により禁止する場合があります。
②小学校低学年までは保護者同伴でご利用ください。
③オムツの取れていない乳幼児の入水は、プール用オムツを着用して幼児用プールのみ可とします。
④上野運動公園プールの50mプールは、安全確保のため身長140cm以下の方の入水はお断りします。
⑤阿山・大山田B＆G海洋センターでは、水泳キャップを着用していただきます。
⑥水泳教室等の開催により利用できないときがありますので、ホームページ等でご確認ください。
⑦気象状況等により開設期間及び時間を変更することがあります。

伊賀市文化会館

伊賀市西明寺3240番地の2　TEL.24－7015

日 時	催 し 物	入 場 料	主催·問い合わせ
6/19(日) 9:30～	チャリティー芸能発表会＆谷本知美ショー ゲスト　Wヤング　平川幸男(よしもと)	前売2,000円 当日2,500円	チャリティー芸能発表会事務局 ☎090-7684-6122
7/3(日) 12:30～	琴修会伊賀支部 大正琴の集い	無 料	(株)さわ楽器 ☎23-8080
7/10(日) 13:00～	ひまわりコンサート×大事MANブラザーズオーケストラ 太陽に両手ひろげて22	一般1,300円 小·中·高校生 500円 (当日200円増)	上野ひまわり作業所 ☎39-1133
7/17(日) 13:00～	2011ピアノ発表会	無 料	三響楽器 ☎43-1705
7/18(月·祝) 18:30～	三輪明宏音楽会<愛>	一般7,500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
7/23(土) 14:00～	第42回慈善吹奏楽演奏会 チャリティーコンサート	500円	伊賀吹奏楽連盟 ☎21-0551(上野高校　福岡) 【正】21-2550
7/29(金) 18:00～	ファーストコンサート2011	無 料	三重県立名張桔梗丘高等学校 ☎65-1721
7/31(日) ①11:00～ ②14:00～	朝日ファミリー劇場	無 料	三重県朝日会 ☎21-0206
8/2(火) 18:00～	ファーストコンサート	無 料	三重県立上野高等学校吹奏楽部 ☎21-0551(上野高校　福岡) 【正】21-2550

ゆめドームうえの

伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の3　TEL.22－0590

日 時	催 し 物	場 所	主催·問い合わせ
6/25(土) 9:00～	三重県小学生バレーボール夏季大会 アサヒグローバルカップ大会	第1、第2	三重県小学生バレーボール連盟 ☎21-5748(生中)
6/26(日) 9:00～	三重県クラブバレーボール連盟 春季大会	第1、第2	三重県クラブバレーボール連盟 ☎090-2347-1091(稲岡)
7/17(日) 9:00～	第21回全日本ドッジボール選手権 三重県大会	第1、第2	三重県ドッジボール協会 ☎059-378-3920(事務局)
7/30(土) 11:00～ (予定)	みえのこども応援プロジェクト 「わくわく！チャレンジタウン」	第1	三重県こども局こども未来室 ☎059-224-2269
8/6(土) 8:00～	第7回 伊賀市スポーツ少年大会	第1、第2	伊賀市スポーツ少年団 伊賀市教育委員会 ☎22-9680(事務局)

あやま文化センター

伊賀市川合3370－29　TEL.43－1125

日 時	催 し 物	入 場 料	主催·問い合わせ
6/26(日) 10:00～	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加料 500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)
7/9(土) 13:30～	持続可能な人権教育のための調査研究事業 コーラスフェスティバル2011	無 料	伊賀地域広域人権教育調査研究協議会 ☎22-9679 (伊賀市教育委員会生涯学習課　児玉(修))
7/10(日) 13:00～	Soaveピアノフェスティバル	無 料	(株)さわ楽器 ☎23-8080(澤)
8/6(土) 19:00～	松永貴志　デビュー10周年記念 ピアノソロコンサート	一般2,500円 高校生以下1,500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511

伊賀びと川柳

常夜燈のころ街道カメラ持つ　福沢　義男

★崇廣寄席落ちに期待し身構える　中井　貴志

昔なら隠れて住んだ忍び者　井ノ上揖男

招き猫かわって招く忍び者　井ノ上揖男

次号(77号)の締切は7月15日です。投稿いただいた方の中から★印の方に「宗次郎オカリナコンサート」のペアチケットをプレゼントします。伊賀にちなんだ川柳・氏名・住所・年齢・連絡先・必要なら掲載用の柳名をハガキ・FAX・Eメールで左記までお願いします。

●編集部だより●

最近思う事。どうも地球がおかしいのではないか。人間が快適に暮らせるためにと開発をしてきた。暮らしにゆとりができればさらに贅沢な生活を求めてきた。人間が勝手に乱した地球を地球自身が自ら直しにかかっているように思える。中部電力の浜岡原発も停止となり、伊賀でも電力不足の問題は他人事ではなくなってきた。電気料金も上がりそうだし、物不足から物価も上がりそうだし、益々家計に負担がかかってくる。まずは出来る事からしていこう。そうだ、隣の部屋の電気を消しにいこう。

(広報事業委員　奥　真也)

お問い合わせ　(財)伊賀市文化都市協会　TEL.0595-22-0511　FAX.0595-22-0512
〒518-0809　三重県伊賀市西明寺3240番地の2　Eメール samazama@bunto.com
・伊賀市文化都市協会　http://www.bunto.com
・ふるさと会館いが　http://www.ict.ne.jp/~furukan/